

こだま新聞

第180号

平成22年10月

義歯安定剤（材）

今回は歯科医院ではどちらかと言えば嫌われ者の義歯安定剤について。

二つのタイプがあり、ポリグリッパウダーなどのクリームタイプの安定剤、もう一つはポリグリッ、タフグリッに代表される密着（クッション）タイプ。市販されている安定剤は密着タイプがほとんどを占めているようです。

密着タイプは取り扱いが容易で、手に付着せず、クッション効果で疼痛が緩和されるなどの利点があるため患者さんに喜ばれています。一方でこの安定剤は時間の経過とともに硬化し、剥がれにくくなり、何回も安定剤を重ねて使用する場合もあるようです。噛みあわせが高くなると上下の歯の噛む位置がずれてくるので、もとの噛み合

わせと違う状態になり、義歯の安定がさらに悪化したり、顎がどんどん痩せてしまう原因になっているようです。

義歯は動かず安定していた方が顎が痩せません。長期間密着タイプの安定剤を使用すると、常に義歯がクッションの上に載っているようになり、すから噛むたびに義歯が揺れ動くことになり、それが顎を痩せさせる原因になるようです。

それに比べるとクリームタイプは顎と義歯の隙間が薄くなり、顎に対する悪影響は少ないようです。その分、顎に加わる力は密着タイプよりも強いいため、義歯が合わないために生じる痛みの緩和は弱くなります。

東京医科歯科大学総合研究科補綴分野の調査によると、義歯粘着剤を使用した

場合次のような結果が出たと報告しています。

効果が認められた項目

1. 義歯の安定性が向上

2. 噛む力が向上

3. 咀嚼回数が減少

4. 義歯と顎の間に食べかすが入りにくくなった。

一方であまり改善の見られなかった項目。

1. 義歯安定性向上に限界がある。

2. 顎の骨吸収が少ない人では義歯安定剤を使用しても効果が少なく、顎の骨吸収が大きい人ほど効果が見られた。

3. 噛みあわせが適切でない場合は義歯安定剤だけでは義歯の安定が得られなかった。

4. 義歯が合わない本質的な原因が覆い隠してしまいかねない。

最後に提言として

義歯の維持が悪くなったらず歯科医の診察を受け、義歯の内面外面、交合関係の調整を受ける。そしてさらなる安定を望むときに義歯安

定剤を使用することを提言していました。

上手に使いこなしましょう。

駅からハイキング

10月2日、今年2回目のJR東日本主催の「駅からハイキング」が八郎潟駅を基点に



して開催されました。

春に続き県内では珍しい年二回の開催となりました。

本丸に造成中の休み処「館」に驚き、フオルクローレを聞きしばし古城の心地よい風に吹かれてきました。

来春も八郎潟駅では「駅からハイキング」が開催される予定です。

今月の行事

10月

- 1日 浦城の歴史 理事会
- 2日 「駅からハイキング」
- 5日 CZ制作委員会
- 7日 1学期終業式
- 10日 おもしろ市場
- 11日 体育の日（休診）
林あさみショー
- 12日 2学期開始
- 17日 県民族芸能大会
- 五城目町朝市
- 21日 1歳半健診
- 22日 保育園歯科Q&A
- 23日 町文化祭